

暴れん坊王女！

第五話

前回の暴れん坊王女三つの出来事！

1つ！イヅモで行方不明者の多発事件が発生。一行は調査へ向かう！

2つ！調査の結果、グンマにあるガリスディアのプラントが怪しいとわかる！

そして3つ！プラントの奥にいたカネノ＝モージャを倒しプラントを止める！だが、人質の中に犠牲者がでてしまった。

用語解説

もりそば・かけそば誤記載問題：イヅモ首都鳳市市長が、書類上でもりそばとかけそばの記述を誤ったとして議会で糾弾されていた問題。その実態は、カネノ＝モージャが自身の犯行を隠すための情報操作であった。余談ではあるがそばといえばダイワでもよく食されている。エリア姫がイヅモに来訪した時はよく一緒にそばを食べていた。剣は卵を落としたものを好み、エリア姫は海鮮類を衣につけて揚げたものをのせたものを好んでいた。

汚職警官カネノ＝モージャ：鳳市の警官でありながら汚職を働き私腹を肥やしていた。ガリスディアからの依頼でグンマのパワープラントを守っていた。シビリアン級を操り、敵を捕縛する警察官らしい戦術を得意とする。またいざという時は人質を巻き込むことをも厭わない外道であった。

私の恋は40ノット：女学生の青春と恋を船の旅路に例えた曲。「島風アマツ」(GM 確認済)というアーティストが歌う曲でありイヅモで大ヒットした。PVでの水上走行シーンは非常に有名で、歌を知らない人でもPVを見れば知っているというレベル。ちなみに40ノットは時速72km程度であり機甲歴世界では決して速いとは言えない。だが、この40ノットというフレーズは機甲歴以前の伝承に残っている駆逐艦「島風」からとられているものであり教養のあるファンはそれを知っているため特に疑問には思わない。

余談ではあるが、歌というのはダイワでも強い力を持っている。事実ダイワでは歌を使うバードと呼ばれる職業が存在しており、魔法の代わりに歌の力でガーディアンを強化する技術も確立されている。

煙幕弾投射機：剣の機体「ラストリゾート」に搭載されていた機能。とはいえ剣自身使い方を把握していなかったため、いままで使われることはなかった。今回カネノ＝モージャが似たようなシステムを使っていたのを見て、剣も使い方に多少の理解を得た。

暴れん坊王女！

第六話

前回の暴れん坊王女三つの出来事！

1つ！イヅモ湾海底で熱源が感知された！

2つ！神に匹敵するガッツィーラを目覚めさせたのはヴァンガードだった！

そして3つ！ガッツィーラのエネルギーを消耗させ撃退に成功した！

用語解説

アニ＝ガッツィーラ：50年前にイヅモに現れたという怪獣。神に匹敵する力を持っていると伝わっていた。あらゆる攻撃を無効化し、そのエネルギーを熱線に変える力を持つ。背鰭の高周波電磁パルスを破壊することでその防御を崩し、なんとか撤退させることに成功した。

海上要塞グランヴァンガード：ディスティニー所属のテロリスト、ヴァンガードが操るスーパー級ガーディアン。今回は水中専用の仕様にカスタマイズされていた。回避能力はさほどでもないが水中に対応するために増加された防御能力は非常に高い。また、去り際に放った奈落忍法大気圏イヅナ落としは相手を大気圏まで上昇させ大気圏を突破させる熱量を相手に与えるすさまじい技。

内なる神と共に：ガリスディアとの戦いで音戸剣がたどり着いた剣技の極致。ニョルドで作り出した隙に無理やり自身の剣閃を挟み込むことで相手に致命傷を与えることができる。また理論上は最大で5回の連撃を重ねることができるが、剣の体に掛かる負担が大きいため現状で使いこなすことは難しい。